

あさか外来通信

インプラントを
お勧めする理由

H30.12月号



- ★ブリッジ
- ★入れ歯
- ★インプラント



歯を失ってしまった時
その部位を補う方法は
大きく分けて3つ!
それぞれに特性があり、
患者さんごとに最適な
治療方法をご提案させて
頂いております。

それぞれのメリット★デメリット

	メリット○	デメリット×
ブリッジ	固定式のため、違和感が少ない。 素材を選択すれば(自費診療)、 天然の歯に近づけることもでき、 審美的にも良い○	土台が必要なため、両隣に自歯が なければ作製出来ない。また土台 となる歯は健康であっても削ら なければならない。被せ物の下に、 汚れが溜まりやすい。
入れ歯	ブリッジでは対応出来ない、本数 の多い欠損にも対応が出来る。 ブリッジのように健康な歯を削る 必要はない。	噛む力は、自歯の3割程度。 入れ歯のバネをかける歯に負担が かかる。はじめのうちは、痛みや 違和感が生じる場合がある。食べ 物が挟まりやすい。
インプラント	周りの歯に負担をかけない。 見た目も噛む力も、自分の歯と ほとんど変わらない。他の補綴物 に比べ歯磨きがしやすく衛生的。 虫歯になることはない。	インプラント(土台)を、骨に埋め る手術が必要。 医療保険適用外の為、 自費診療 。



インプラントは、周りの歯に**負担をかけない**治療法です。
ご自身の歯を出来る限り長く使っていきたい方に最適です!



インプラント埋入後、歯が入るまでの期間は?

従来の治療方法ですと、インプラント(土台)を埋入してから歯が入るまでは3~4ヶ月間ほどの**治癒期間**が必要で、その間はインプラント部分に歯が無かったり、仮の入れ歯を使用してお過ごしいただいておりました。

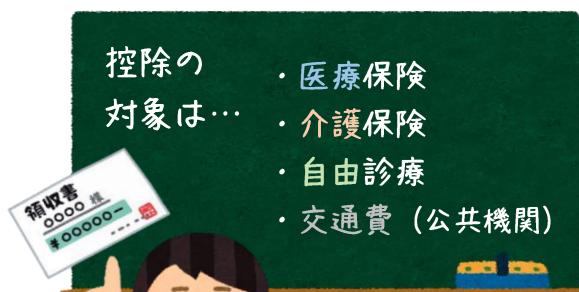
当院では、手術を行ったその日に仮り歯をつけて、見た目と噛む機能をすぐに取り戻すことが出来る「**イミディエート・ファンクション**」という最新の治療方法を導入しております。埋入したインプラントが骨と結合するまでの数ヶ月間も、**日常生活に支障をきたしません**。



いりょうひこうじょ
医療費控除を
活用しましょう♪

インプラントや自費の被せ物などの自由診療を行う場合、歯科治療にかかる費用は決して安いとは言えませんね。

もし支払った**医療費**(歯科以外も含む)が**年間10万円**を超える場合、医療費控除で一部の金額が戻ってきます!



- 控除の対象は…
- ・医療保険
- ・介護保険
- ・自由診療
- ・交通費(公共機関)

領収証は大切に★
保管しましょう!

申告に必要な物

- ◆ 給与所得の源泉徴収票
- ◆ 医療費のレシート、領収書、交通費などのメモ
- ◆ 保険金で補填された金額がある場合には、その金額のわかるもの
- ◆ 申告者の口座番号
- ◆ 印鑑

過去の外来通信・医院についてはこちら

医療法人 寛友会
浅賀歯科医院

